

情報処理学会 電子化知的財産・社会基盤研究会 研究報告用テンプレート

猪谷 誠一^{1,a)}

概要：このテンプレートは情報処理学会が公開している研究報告用 LaTeX テンプレートを Zotero での文献管理を前提に、電子化知的財産・社会基盤 (EIP) 研究会用に拡張したものです。和文誌、日米欧の法律、日欧の判決等の引用をサポートする拡張を行いました。

キーワード：LATEX, テンプレート, 情報処理学会

Template for Tech Report for Electronic Intellectual Property Research Group, Information Processing Association of Japan

Abstract:

This template is an extension of the techreport template published by the Information Processing Society of Japan for the use of Electronic Intellectual Property Research Group. The modification covers the citation of Japanese literature, laws in Japan, US, and the EU, cases in Japan and the CJEU.

Keywords: LATEX, template, IPSJ

1. はじめに

このテンプレートは情報処理学会電子化知的財産・社会基盤 (EIP) 研究会の研究報告で使うために、同学会が公開している LATEX テンプレートを拡張したものです。元のテンプレートは EIP 研究会が参照する文献の扱いに以下のようないくつかの課題がありました。

- (1) 文献管理ソフトと併用すると和文文献の著者名が「姓名」になってしまいます。
- (2) bst ファイルに判例や法律といった文献タイプの関数が定義されていない。

作者は自分用に上記に対応する bst ファイルを作っていましたが、LATEX テンプレートがないことは文理の垣根を越えた研究を掲げる EIP 研究会に理数系の研究者が参加するハードルになっているように思えたため、このテンプレートを提供することにしました。

¹ 一般財団法人情報法制研究所, Japan Institute of Law and Information Systems
a) oasis_adhim@proton.me

2. 想定環境

この文書では、読者に基本的な LATEX の使い方の知識があることを想定して、法学関連の文献情報を適切に引用する方法を説明しています。LATEX の使用に不安のある方は [1] などをご覧になるとよいでしょう。

2.1 コンパイル環境

このテンプレートは Overleaf (<https://overleaf.com/>) での使用を前提としています。元テンプレートが platex を想定しているためか、著者のローカル環境 (Macintosh + lualatex) ではコンパイルが通らないためです。

2.2 LATEX パッケージ

URL の折り返しのため、url パッケージと hyperref パッケージが必須です。url パッケージには hyphens オプションを指定、hyperref パッケージには、hidelinks オプションと、dvi から pdf を生成するソフトウェア名をオプションと指定してください。なお、url パッケージを hyperref パッ

ケージより前に指定する必要があります。この TeX ファイルのプリアンブルを参考にしてください。

2.3 文献管理ソフト

以下では Zotero (<https://www.zotero.org/>) の使用を想定して説明します。

2.3.1 Zotero の準備

準備として、マイ・ライブラリ下に論文や研究プロジェクトごとにコレクション（音楽再生ソフトでの「プレイリスト」のようなもの）を作成しておきます。左ペインの左上隅にある、フォルダアイコンに \oplus が付いているアイコン（図 1 左の「マイ・ライブラリ」の左上にあるもの）をクリックするとコレクションを新規作成できます。

2.3.2 Better BibTeX プラグインの設定

また、判決や法令など、国ごとに異なる引用形式を扱うため、Zotero の「権利」フィールドに国などの情報を持たせることにしています。しかし、インストール直後の Zotero は権利フィールドをエクスポートすることができないので、Better BibTeX プラグインをインストールした上でその設定を行う必要があります。手順は以下の通りです。

- (1) Better BibTeX のページ (<https://retorque.re/zotero-better-bibtex/>) にアクセスして左ペインの下の方にある「Download」をクリック、遷移先 github ページにある「zotero-better-bibtex-バージョン番号.xpi」をダウンロードします。
- (2) ダウンロードできたら Zotero の「ツール→Plugins →右上の歯車→Install Plugin From File...」でダウンロードした xpi ファイルを選択して Better BibTeX プラグインを Zotero にインストールします。
- (3) Zotero の「環境設定→Better BibTeX→postscript」に以下のテキストを入力。

```
if (Translator.BetterBibLaTeX) {  
    tex.add({ name: 'rights',  
              value: zotero.rights});  
}
```

これでコレクションをエクスポートしたときに rights フィールドも含まれるようになったはずです。

3. 文献管理ソフトへの入力

重要: 著者名の「名 姓」と「姓 名」の振り分けは Zotero の「言語」フィールド (bibitem の langid が japanese か否か) が出力する langid の値で判定しています。なので、著者名を「姓 名」にしたい場合には、論文中で使われている言語によらず言語フィールドには ja を入力してください。

著者名を足したいときは、著者名入力欄の右にマウスオーバーすると \ominus と \oplus が表示されるので、 \oplus をクリックすれば追加の著者欄が出てきます。著者名の入力フィール

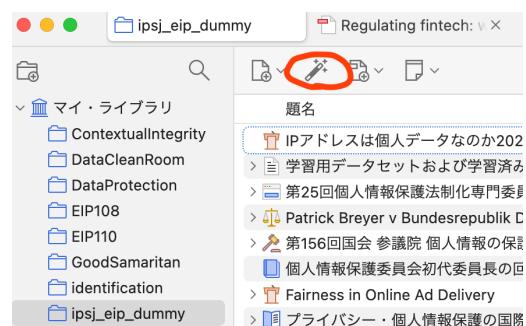


図 1 DOI 等でインポートするためのアイコン。

ドが 2 つに分かれている場合は author フィールドに「姓」「名」の順で、1 つの場合には institution フィールドに値が入ります。著者名が「名 姓」の人であっても入力欄は左が姓で右が名なので注意しましょう。この 2 つを切り替えるには著者名入力欄の右にある長方形をクリックします。「著者名」の文字をクリックすると「編者」「訳者」等も選べます。ただ、「編著者」というのはないため「著者」に統一することになると思います。

また、Zotero の citation key の自動生成は結構長いものを生成するので、メインページで文献を右クリック→Better BibTeX → Change BibTeX Key... で手動設定することをおすすめします。

3.1 和文論文

DOI 等の文献番号が付されている場合には、メインパネル上部の杖のアイコン（図 1）をクリックして入力すれば自動でインポートされます。ですが、ほとんどの場合言語フィールドは空なので適宜入力してください。

図 2 のように入力すると（DOI より下は自動で生成されるので入力の必要はありません。以下同様。）、[2] のように出力されます。必須のフィールドは

- タイトル
- 著者名
- 雑誌名
- 出版年月日 (年だけで OK)
- 言語

です。これらに加えて巻とページ数も普通は入ると思います。

3.2 和文書籍

Zotero の文献番号インポート機能（図 1）は ISBN にも対応していますが、ISBN から引っ張ってこれる和文書籍の情報はフォーマットが統一されていないようなので手動で入力した方が良さそうです（図 3）。

必須のフィールドは

- タイトル
- 著者名



図 2 和文論文での入力例。



図 3 和文書籍での入力例。

- 出版社名
 - 出版年月日 (年だけで OK)
 - 言語
- です。これによって [3] のように出力されます。

3.3 和文書籍の章

書籍とほとんど変わりませんが、必須のフィールドは

- 章のタイトル (題名)
- 著者名
- 書籍名
- 出版社名
- 出版年月日
- 言語

が必須です。また、編者名も入れるのが良いでしょう (図 4)。これによって [4] のように出力されます。

3.4 和文学会発表

アイテムを「学会発表」にした上で、言語を「ja」にします (図 5)。必須フィールドは

- 題名
- 著者名
- 出版年月日
- 紀要名
- 巻
- 言語

です。学会名を入力することもできますが、海外のプロセーディングスを引用する際には学会名より紀要名を利用

図 4 和文書籍の章での入力例。

情報	Citation key	Horibe-InternationalCoherence-2010
アイテムの種類	書籍の章	
題名	プライバシー・個人情報保護の国際的整合性	
著者名	堀部, 政男	
編集者名	堀部, 政男	
書籍名	プライバシー・個人情報保護の新課題	
叢書		
叢書番号	巻	
	巻数	
	版	
	都市	
出版社	商事法務	
出版年月日	2010-04	
ページ数	1	
言語	ja	
ISBN	978-4-7857-1749-0	

図 5 学会発表の入力例。

情報	Citation key	igayaIPAddress2025
アイテムの種類	学会発表	
題名	IPアドレスは個人データなのか2025: 個人識別性の絶対説と相対説の現在	
著者名	猪谷, 誠一	
出版年月日	2025	
紀要名	情報処理学会 EIP研究会 研究報告	...
学会名	第104回 情報処理学会 電子化知的財産・社会基盤研究会	
都市	Japan	
出版社	卷 108	
	ページ数	
	叢書	
	言語 ja	
	DOI	

する（紀要名に学会名が入っている）ことが多いようなので、現在「学会名」は引用に使うようにはなっていません。これにより [5] のように出力されます。

3.5 法

アイテムは「法律」を選択します。権利欄への入力内容で引用形式を振り分けています。現在対応している法と権利への入力内容は、

- 日本法 Jlaw
米国連邦法 USlaw
米国州法 USstatelaw
EU 法 EUlaw

です。

3.5.1 日本法

以下を入力すると (図 6)、

- 法令名
- 法律番号
- 言語は ja と入力
- 権利に Jlaw と入力

[6] のように引用されます。

3.5.2 米国連邦法

以下を入力すると (図 7)、

- 法令名
- コード (United States Code なら U.S.C. など)
- 法律番号
- 施行期日 (法典の版)
- 権利に USlaw と入力

[7] のように引用されます。

図 6 日本法(個人情報保護法)の入力例。

情報	Citation key appi2003
アイテムの種類 法律	法令名 個人情報の保護に関する法律
著者名 (姓), (名)	コード
コード番号	法律番号 平成15年法律第57号
施行期日 2003	ページ数
セッション	章
歴史	セッション
言語 ja	歴史
題名(略)	言語
URL	題名(略)
アクセス日時	URL
権利 Jlaw	アクセス日時

図 8 米国州法(CCPA)の入力例。

情報	Citation key ccpa2018
アイテムの種類 法律	法令名 California Consumer Privacy Act
著者名 (姓), (名)	コード Cal. Civ. Code
コード番号	法律番号
施行期日 2018	ページ数 1798.100
セッション	章
歴史	セッション
言語	歴史
題名(略)	言語
URL	題名(略)
アクセス日時	URL
権利 USstatelaw	アクセス日時

図 7 米国連邦法(著作権法)の入力例。

情報	Citation key CopyrightAct19762012
アイテムの種類 法律	法令名 Copyright Act of 1976
著者名 (姓), (名)	コード U.S.C.
コード番号	法律番号 17
施行期日 2012	ページ数
セッション	章
歴史	セッション
言語 en	歴史
題名(略)	言語
URL	題名(略)
アクセス日時	URL
権利 USlaw	アクセス日時

3.5.3 米国州法

以下を入力すると(図8)、

- 法令名
- コード
- 施行期日
- ページ数(冒頭のセクション番号)
- 権利にUSstatelawと入力

[8]のように引用されます。

3.5.4 EU法

以下を入力すると(図9)、

- 法令名
- 法律番号(EU官報の巻号)
- 施行期日(EU官報の日付)
- ページ数(EU官報の最初の頁)
- 権利にEULawを入力

[9]のように引用されます。EU官報の情報がない場合には、法律番号を空欄にすればスキップされます。

3.5.5 その他の国・地域の法

権利に上記以外の値を入力(大文字・小文字違いや空欄を含む)すると(図10)、デフォルトの引用形式[10]が 출력されます。

3.6 判決など

アイテムを「訴訟」にします。権利やレポーター、リポーターへの入力内容で引用形式を振り分けています。

3.6.1 日本の判決や審決

公刊物に登載されている判決や審決の場合、図11のよう

情報

Citation key gdpr2016

アイテムの種類 法律

法令名 Regulation (EU) 2016/679 of the European Parliament and of the Council of 27 April 2016 on the protection of natural persons with regard to the processing of personal data and on the free movement of such data, and repealing Directive 95/46/EC (General Data Protection Regulation)

著者名 (姓), (名)

コード

コード番号

法律番号 L 119

施行期日 2016-05-04

ページ数 1

章

セッション

歴史

言語 en

題名 (略) GDPR

URL

アクセス日時 |

権利 EUlaw

図 9 EU 法 (GDPR) の入力例。

情報

Citation key pipl2021

アイテムの種類 法律

法令名 個人情報保護法

著者名 (姓), (名)

コード

コード番号

法律番号 2021年中華人民共和国主席令第91号

施行期日 2021-11-21

ページ数

章

セッション

歴史

言語 zh

題名 (略)

URL

アクセス日時

権利 PRClaw

図 10 その他国・地域の法 (中華人民共和国個人情報保護法) の入力例。権利に入力された「PRClaw」は無視され、デフォルトの引用形式で出力される。

情報

Citation key niftyserveCase2002

アイテムの種類 訴訟

事件名 東京地裁判決 平成9年5月26日

著者名 (姓), (名)

裁判所 東京地方裁判所

決定期日 2002-09-05

事件整理番号 平成6年 (ワ) 第7784号・24828号

レポーター 判例時報

リポーター巻 1610

最初のページ 22

歴史

言語 ja

題名 (略) ニフティサーブ現代思想
フォーラム事件

URL

アクセス日時

権利 Jcase

図 11 日本の判決や審決で公刊物に登載されているものの入力例。

に入力すると、[11] のように出力されます。必須のフィールドは

- 事件名 (裁判所名称 裁判形式 判決年月日までを記入)
- 決定期日 (西暦で入力。文献ソフトでの管理用です)
- レポーター (掲載誌名)
- リポーター巻 (掲載誌の号)
- 最初のページ (掲載誌の最初のページ)
- 権利に「Jcase」

また、読者の便宜のために事件の通称を付したい場合は、「題名 (略)」に入力します。事件整理番号に事件番号を入れても構いません。

公刊物に登載されていない判決の場合、図 12 のように入力すると、[12] のように、「公刊物未登載」の文言付きで出力されます。必須のフィールドは

- 事件名 (裁判所名称 裁判形式 判決年月日までを記入)
- 決定期日 (西暦で入力。文献ソフトでの管理用です)
- 事件整理番号
- 権利に「Jcase」

また、読者の便宜のために事件の通称を付したい場合は、「題名 (略)」に入力します。なお、公刊物には掲載されていないが裁判所等のウェブページで閲覧できる場合には URL を入力しておくと「公刊物未登載」の文言が「裁判所等のウェブページ参照」に差し替わります。

判例 DB に掲載されている場合は、

- 事件名 (裁判所名称 裁判形式 判決年月日までを記入)
- 決定期日 (西暦で入力。文献ソフトでの管理用です)
- レポーター (DB 名称)
- 最初のページ (文献版号)

情報	
Citation key	vtuber2021
アイテムの種類	訴訟
事件名	東京地判令和4年7月1日
著者名	(姓), (名)
裁判所	東京地方裁判所
決定期日	2021-7-1
事件整理番号	令和4年 (ワ) 8924号
レポーター	
リポーター巻	
最初のページ	
歴史	
言語	ja
題名 (略)	
URL	
アクセス日時	
権利	Jcase

図 12 日本の判決や審決で公刊物に登載されていないものの入力例。

情報	
Citation key	vtuber2020
アイテムの種類	訴訟
事件名	東京地判令和2年12月22日
著者名	(姓), (名)
裁判所	東京地方裁判所
決定期日	2020-12-22
事件整理番号	令和元年 (ワ) 18748号
レポーター	LEX/DB
リポーター巻	
最初のページ	25578058
歴史	
言語	ja
題名 (略)	
URL	
アクセス日時	
権利	Jcase

図 13 日本の判決で DB に掲載されているものの入力例。

- 権利に「Jcase」

とすることもできます(図 13)。これにより [13] のように引用されます。

3.6.2 CJEU の判決

図 14 のように入力すると [14] のように出力されます。
必須のフィールドは

- 事件名
- 裁判所
- 決定期日
- 事件整理番号
- 最初のページに欧州判例法識別子 (ECLI)
- 権利に「CJEUcase」

です。

3.6.3 その他の国・地域の判決

権利に「Jcase」「EUcase」「Jdiet (3.7 節参照)」以外の文字列(大文字・小文字違いや空欄も含む)を入力すると(図 15)、jurisdiction のデフォルトの引用形式として [15] のように出力されます。必須のフィールドは

- 事件名
- 裁判所
- 決定期日

です。「事件整理番号」「最初のページ」にも対応しています。

3.7 国会議事録

アイテムは「公聴会」を選択した上で、「権利」に Jdiet という文字列を入力してください。内部的には「訴訟」と同じく jurisdiction になってしまいます。必須のフィールドは



図 14 欧州司法裁判所判決の入力例。

情報	情報
Citation key	sangi156appi8
アイテムの種類	公聴会
題名	第156回国会 参議院 個人情報の保護に関する特別委員会 第8号 平成15年5月20日
寄稿者名	(姓), (名)
委員会	個人情報の保護に関する特別委員会
都市	
出版社	
巻数	
文書番号	
ページ数	
立法機関	参議院
セッション	
歴史	
出版年月日	2003-05-20
言語	ja
題名(略)	
URL	
アクセス日時	
権利	Jdiet

図 16 国会議事録の入力例。



図 15 その他の国・地域判決の入力例。権利に入力された「Francecase」は無視され、デフォルトの引用形式で出力される。

- 題名
- 立法機関
- 出版年月日 (委員会開催日)
- 言語
- 権利に「Jdiet」

です (図 16)。これによって [16] のように出力されます。

3.8 ウェブページ

アイテム名を「ウェブページ」にします。なぜか図 1 の丸をつけたアイコンの左にある新規アイテム作成をクリックして現れるリスト中に「ウェブページ」がありませんが、作成後に文献を選択して右ペインに出すと「アイテムの種類」から「ウェブページ」を選べるようになります。必須フィールドは

- 題名
- URL
- アクセス日時
- 言語

で、[17] のように出力されます。著者名やウェブサイト名は分かれば入れておいた方が良いと思います。

なお、著者名や公開年がわからない場合もあり、その場合には図 18 のようになると思います。この場合の引用は [18] のように出力されます。



図 17 Web ページの入力例。

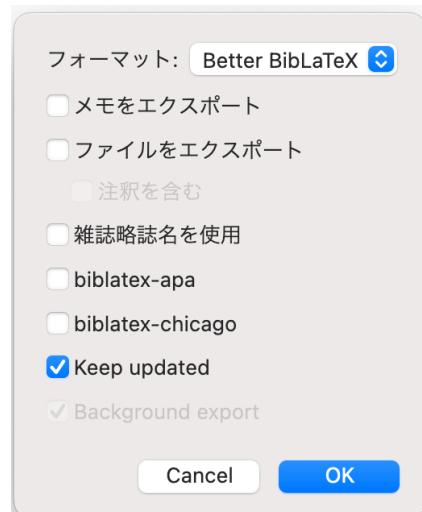


図 19 コレクションエクスポート時に表示されるダイアログボックス。

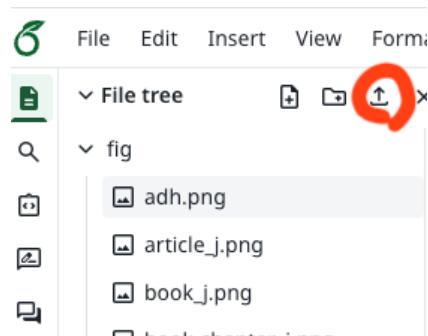


図 20 Overleaf へのアップロードアイコン。

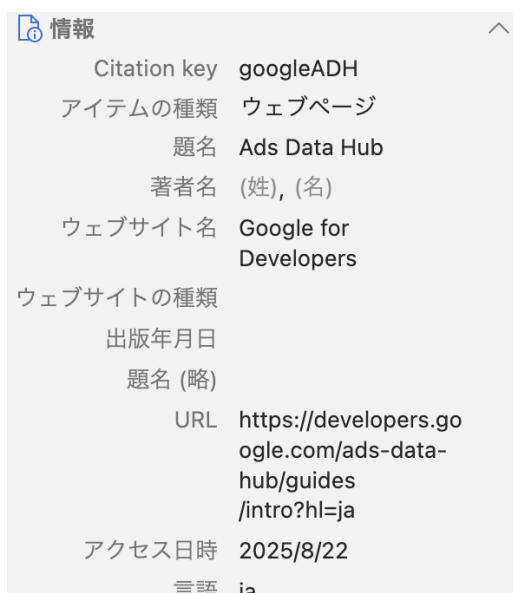


図 18 著者名や公開年がわからない場合のウェブページの入力例。

4. コレクションのエクスポートと Overleaf への取り込み

コレクションを右クリックして「コレクションをエクスポート...」を選択すると図 19 のダイアログボックスが表示されます。フォーマットを「Better BibLaTeX」に、Keep updated にチェックを入れて OK をクリックするとエクスポート先を訊かれるので適宜選択すれば、コレクションが bib ファイルとして保存されます。Keep updated をオンにしているので、これ以降はコレクションの内容を更新すると自動でエクスポート先の bib ファイルも更新されます。

完成した bib ファイルは Overleaf の左ペインにあるアップロードアイコン（図 20）をクリックすればアップロード可能です。

参考文献

- [1] 奥村 晴彦, 黒木 裕介: 改訂第 9 版 LaTeX 美文書作成入門, 技術評論社 (2023).
- [2] 板倉 陽一郎, 熊谷 雄介, 猪谷 誠一: 学習用データセットおよび学習済みモデルのライセンスに関する法的問題, Vol. 11, p. 110, DOI: 10.32235/alis.11.0_110 (2022).
- [3] 堀部 政男: 個人情報保護委員会初代委員長の回顧, 商事法務 (2023).
- [4] 堀部 政男: プライバシー・個人情報保護の国際的整合性,

- プライバシー・個人情報保護の新課題（堀部 政男 編），商事法務（2010），p. 1.
- [5] 猪谷 誠一：IP アドレスは個人データなのか 2025：個人識別性の絶対説と相対説の現在，情報処理学会 EIP 研究会 研究報告，Vol. 108 (2025).
 - [6] 個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）.
 - [7] Copyright Act of 1976, 17 U.S.C. (2012).
 - [8] California Consumer Privacy Act, Cal. Civ. Code §1798.100 et seq.
 - [9] Regulation (EU) 2016/679 of the European Parliament and of the Council of 27 April 2016 on the Protection of Natural Persons with Regard to the Processing of Personal Data and on the Free Movement of Such Data, and Repealing Directive 95/46/EC (General Data Protection Regulation), OJ (2016) L 119 /1.
 - [10] 個人情報保護法，2021 年中華人民共和国主席令第 91 号.
 - [11] 東京地裁判決 平成 9 年 5 月 26 日 判例時報 1610 号 22 頁（ニフティサーブ現代思想フォーラム事件）.
 - [12] 東京地判令和 4 年 7 月 1 日公刊物未登載（令和 4 年（ワ）8924 号）.
 - [13] 東京地判令和 2 年 12 月 22 日（LEX/DB25578058）.
 - [14] 欧州司法裁判所，C-582/14, Patrick Breyer v Bundesrepublik Deutschland (2016), ECLI:EU:C:2016:779 (Breyer) .
 - [15] Conseil d'État, 2020 年 6 月 26 日決定 (2020) 事件番号: 441065, ECLI:FR:CEORD:2020:441065:20200626.
 - [16] 第 156 回国会 参議院 個人情報の保護に関する特別委員会 第 8 号 平成 15 年 5 月 20 日 (2003).
 - [17] IT 戰略本部 個人情報保護法制化専門委員会：第 25 回 個人情報保護法制化専門委員会議事録 (2000), <https://web.archive.org/web/2006111074537/http://www.kantei.go.jp/jp/it/privacy/houseika/dai25/25gijiroku.html> (参照 2025-10-09).
 - [18] Ads Data Hub <https://developers.google.com/ads-data-hub/guides/intro?hl=ja> (accessed 2025-08-22).